

地域美産研究・探訪会ニュース No.46

発行：平成 19 年（2007 年）5 月 3 日

平成 19 年 5 月 26 日（土）

第 46 回催事 『外山晴彦さんの庶民信仰の石仏美産探訪会Ⅱ』 『江戸の風流を遺す根岸の里に、貴重な石仏・富士塚たちを訪ねる』

都内台東区の下谷・根岸地区は上野公園の北東に位置して、江戸時代はウグイスが鳴く「初音の里」、「根岸の里のわび住まい」と言われるくらい閑静な地で、NHK の慶次郎縁側日記の主人公（高橋英樹）が管理番をする寮が在る町です。江戸から明治、大正時代にかけて、多くの文人墨客が住むとともに、「恐れ入谷の鬼子母神」「朝顔市」など話題の多い土地柄で、今も路地裏に入ればそこそこに当時の面影が残っています。



世尊寺の庚申塔

『江戸の隠れ家町、下谷・根岸の石仏と富士塚』

今回は 1600 年代に建立された初期型庚申塔や、国の重要民俗文化財に指定された富士塚などをじっくりと観察して、江戸庶民の生活文化を下谷・根岸に偲び、そのエネルギー活動の背景に想いを馳せます。

主な訪問先は、聖観音主尊の庚申塔や三猿塔（路傍）、二童子四鬼神付の青面金剛像（世尊寺）、三面大黒天像（英信寺）、稲荷の性器付キツネ、三峯のオオカミ、富士塚のサル、「日本三庚申」の遺跡や重文の富士塚（小野照崎神社）など。

企画案内人は、神社寺院や野仏探訪の第一人者で、地域美産会アドバイザーの外山晴彦さん。外山さんは難しい事柄を易しく解説する才能の持主で、その易しい解説を楽しみながら、信仰に事寄せた江戸庶民達の息抜きと娯楽の場を巡ります。

交歓会：江戸美産巡りの余韻を楽しむ交歓会は、根岸で評判の高い蒲焼割烹、「根ざし宮川」で行い、お店の厚意で@6,000 円台のコースメニューを、

麦酒（中壺）又は酒 1 本付き@5,000 円の特別値段で楽しめます。

外山 晴彦



1941 年東京生れ、早大政経学部卒。東京図書(株)勤務後、雑誌の取材・編集・企画を経てフリーライター。長年に亘り地域の神社寺院と境内の各種構造物、各地に遺る野仏・石仏探訪を続ける。主な著書：「神社ウォッチング」東京書籍、「神社の見方」小学館、「野仏の見方」小学館。主な講座：世田谷区民講座「身近な社や庚申塔のウォッチング」2002 年、学習院生涯学習センター「神社・野仏のウォッチング」2001～2004 年、NHK文化センター前橋教室「野仏・石神を訪ねて」2005～2007 年（毎年各 6 回）。「神社ウォッチングの会」会長、「三梢会」顧問。

来月の催事予定：6 月 23 日（土）藤島俊会さん企画・案内「横浜三溪園」研究・探訪会です。

地域美産会 第46回催事「庶民信仰の石仏美産探訪会Ⅱ、下谷・根岸編」

日 時	平成19年5月26日(土) 13:30~17:00 頃迄(雨天決行)
集 合 時 間 ・ 場 所	13:20 JR 鶯谷駅 北口(大宮方向階段下る)改札口外側。
探 訪 先 (予 定)	聖観音主尊の庚申塔、三猿塔、青面金剛像(世尊寺)、三面大黒天像(英信寺)、稲荷の性器付キツネ、三峯のオオカミ、富士塚のサル、富士塚(小野照崎神社)等
案 内 と 解 説	外山晴彦
参 加 人 数	25名
探 訪 会 参 加 費	¥2,000(会員)ほか。詳細は下欄(参加記入欄)で確認。
他 の 個 人 負 担 費 用	若干の現地費用。
昼食は事前に済ませて	集合時間迄に摂る。推薦店は隣日暮里駅近くの蕎麦店「川むら」Tel 3821-0737
交歓会(事前振込必要)	「根ざし宮川」Tel 3842-4141、¥5,000(麦酒か酒1本付)≒17時~19時
遅 刻 等 の 連 絡	080-3003-5277(福原)、090-8772-4216(外山)

参加申込書

記入日： 年 月 日

5月23日(水)迄にこの申込書をメール、FAX(03-3407-5247)か郵送で事務局送付。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
住 所	〒				
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日				
資格(○付け)	① 一般 ② 会員 ③ 家族会員 ④ 法人会員				
Tel(自宅)		Fax			
Tel(携帯)		e-mail			
2人目の家族/法人会員名記入欄					
ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			

① 参加記入欄(該当金額欄に○を付けて下さい)

	1	探訪会	2	交歓会(参加自由)	3	全参加料合計
会員		2,000		5,000		7,000
家族/法人会員(1人目)		2,000		5,000		7,000
家族/法人会員(2人目)		2,000		5,000		7,000
学生と地元関係者(企画者推薦者)		2,000		5,000		7,000
一般		3,500		5,000		7,500

参加申込と受付 会員優先・申込先着順で、以下の要領に従って。

- 上の参加申込欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
- 事務局からの参加枠確保の連絡を受けて、貴方の参加料金を、**みずほ銀行青山支店 普#2341030**,

パブリックアート研究所に振込料自己負担で振込（振込無き場合は貴方の参加料喪失）。

3. 振込済金払戻；主催者瑕疵を除き払戻不可。 4..催事中の傷害事故：損保ジャパン「レクリエーション保険」で補償。

② 貴方の振込金額（上欄○印金額の合計を記入）： ￥_____